



チーバくん

未来をつくる！ 若手の先生方の実践を紹介します！

千葉県教育庁
北総教育事務所

U10 学びの未来づくり応援キャンペーン事業

千葉県には、子どもたちの「学びの未来」を支えるために、よりよい授業を目指して、日々の授業改善に取り組んでいる先生方がたくさんいます。そのなかでも、令和5年度の学校訪問で出会った、若手の先生方の実践を紹介します。

U10の先生方(令和5年度の所属・紹介事例の教科・学年)

- ① 佐藤 太一 先生 (佐倉市立間野台小学校・体育科・5年生)
- ② 中田 里沙 先生 (佐倉市立小竹小学校・生活科・2年生)
- ③ 瀧本 優奈 先生 (佐倉市立王子台小学校・総合的な学習の時間・6年生)
- ④ 大浦 美穂 先生 (八街市立笹引小学校・算数科・1年生)
- ⑤ 閑野 勇飛 先生 (香取市立佐原中学校・国語科・2年生)
- ⑥ 石田 里奈 先生 (匝瑳市立共興小学校・国語科・2年生)
- ⑦ 滑川 晶太 先生 (匝瑳市立八日市場第一中学校・数学科・3年生)

～紹介シートの見方～



氏名
学校名
(令和5年度所属校)
経験年数
(令和5年度末時点)

～授業者のコメント～

授業者に、工夫した点、力を入れた点を聞きました。

授業の学習指導案や、ワークシート等が二次元コードやURLから見ることができます。

小〇年 〇〇科 単元 「
本時の目標

学習指導案は
こちら



「実践モデルプログラムを活用した授業のためのチェックシート」(次頁参照)に照らし合わせて、授業の良かった点を指導主事が紹介します。

授業を参観した指導主事からのコメント①

.....
.....

授業を参観した指導主事からのコメント②

.....
.....

～授業者のコメント～

授業者に、今後の目標や目指す授業について聞きました。

実践モデルプログラムを活用した授業のためのチェックシート

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">授業の前に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 本単元（本時等）を通して、資質・能力が育成された児童生徒の具体的な姿を、観点別の目標に基づいて描いている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の、発問に対する反応や課題に対する考えを予想している。 <input type="checkbox"/> 本単元（本時等）で資質・能力の育成ができたか評価する手立てを準備している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が働かせるべき「見方・考え方」を理解している。 <input type="checkbox"/> 「見方・考え方」を働かせた児童生徒の思考の過程が表れるような板書を計画している。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">見いだす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 児童生徒が自ら疑問をもつことができるような資料や発問を準備している。 <input type="checkbox"/> 既習の内容や方法を振り返る場面を設定している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が課題を明確にすることができるように、疑問を整理して焦点化している。 <input type="checkbox"/> 本単元（本時等）の目標（めあて・ねらい）を児童生徒に明示している。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自分で取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 児童生徒が解決の見通しをもつことができるように、学習のめあてや既習の内容との相違点等を児童生徒とともに確認している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が自ら情報を収集し調べることができるように、環境等を用意している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が自分の考えを形成したり、思いや考えを基に創造したりする時間を確保している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が「見方・考え方」を働かせながら課題に取り組むことができるように、取り組むときの視点や思考の進め方を指導している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒一人一人の様子を把握し、早めに解決できた児童生徒や、つまづいてしまっている児童生徒に対する次の手立てを準備している。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">広げ深める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 児童生徒が自分の考えを伝える場面を設定している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が「見方・考え方」を働かせながら、根拠とともに自分の考えを伝えることができるように指導している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が多様な考えを理解できるように、互いに学び合う場面を設定している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が友達の考えを聞き、疑問点を問い直すことができるように、自分の考えと比べながら聞くなど、聞き方の指導をしている。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が新たな考えに気付くことができたか確認し、自分の考えや学びを修正することができるように、個に応じた助言をしている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめあげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 児童生徒が板書やノート、作品等を通して思考の過程を振り返り、学んだことをまとめる場面を設定している。 <input type="checkbox"/> 「深い学び」につながる本単元（本時等）のまとめを、児童生徒の言葉で予想・準備し、書く時間を確保している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が学んだことを確実に身に付け、「見方・考え方」を今後の学習や生活にどのように生かすか考える場面を設定している。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が新たな疑問をもつことができるような発問を準備している。

* 上記の項目は、毎時間（もしくは毎単元）全ての項目を達成することを推奨するものではありません。
授業改善の視点として、指導案の作成や校内研修等で御活用ください。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します。

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業



佐藤 太一
先生

令和5年度所属校
佐倉市立
間野台小学校
経験年数7年
(令和5年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

事前に手本動画の動きを言語化することでイメージさせ、その動きに近づくよう展開を工夫しました。実際の動きとイメージが一致するようにコツを言語化させました。また、グループの活動時間を多く取り入れ、協働的な学びにつなげることで、個別の課題の改善、解消につながるよう工夫しました。

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1001taiiku.pdf>

学習指導案は
こちら



小5年 体育科 単元 「マット運動」(器械運動)

本時の目標

- 自己の動きや仲間の動きを客観的にとらえ、動きの修正や仲間への助言できるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)
- けがのないように、互いの服装や髪形に気を付け、試技の前後と途中で、器械・器具や仲間の安全に気を配ることができるようにする。
(学びに向かう力、人間性等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの「自分で取り組む」がよかった！

本時の課題を解決するために、児童が意識すべき技のポイントを明確にした資料を掲示することで、技の習得への理解が深まりました。また、模範の動画を見せることで、より具体的に技の完成までを見通すことができ、主体的な学習活動につながりました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの「広げ深める」がよかった！

タブレットを活用し、自分の試技の動画を友達と共有する際に、技のできばえを抽象的に伝えるだけでなく、改善の視点を話し合わせることで、課題解決に向けてより充実した教え合い活動が行われ、自分の考えを深め、主体的に学習に取り組むことができていました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

体育科の授業を通して、体を動かして「楽しい、わかった」と感じられる授業の実践を目指していきたいです。ペアやグループ活動を多く取り入れ、学級の様々な児童と交流できる場をつくることで、よりよい学級経営にもつなげていきたいと思ひます。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U10学びの未来づくり応援キャンペーン事業

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

本学級は、生活科の学習に意欲的で自分の考えを表現することを得意とする児童が多いのですが、様々な理由で自分の考えを表現することが苦手な児童もいるため、タブレットを使用したりヒントカードを提示したりすることで、どの児童も安心して学習できるようにしました。



中田 里沙

先生

令和5年度所属校

佐倉市立

小竹小学校

経験年数7年

(令和5年度末時点)

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1002seikatsu.pdf>

学習指導案は
こちら



小2年 生活科 単元「わたしの町はっけん」

～〇〇小のまわりの町 □□□□のたからもの～

本時の目標

〇町の行ってみたい場所をカードに書き出す活動を通して、見つけたいものや会いたい人について考えることができ、町にはすてきな場所がいくつもあることに気づき、思いや願いをもって探検したい場所を伝えようとしている。

(思考力、判断力、表現力等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**見出す**がよかった！

導入時、通学路の動画(一例)を全体で視聴しました。児童はモニターに映し出された風景に興味をもち、個々に気づきをつぶやきました。お店や施設の場面を静止し、名称や訪れた経験の有無を問いかけ、自身との関わりにつなげることにより、行ってみたい場所探しの一助となりました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**広げ深める**がよかった！

行きたい場所について、好きな理由や知りたいこと、見たいもの、会いたい人等をカードに書くことにより、考えが明確になりました。また、友達と情報交換を行い、カードをマップ上に貼りました。友達の思いに共感したり、質問したりすることにより、自分の考えと比較しながら聞くことができました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

児童が「わかった」「なるほど」「おもしろい」と思えるような授業を目指していきたいです。どの児童も得意や苦手があると思います。授業を通して少しでも学びの楽しさを実感し、これから学びを深めていくためのきっかけになればと思っています。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

本単元では、インタビュー内容を考えて、保護者へのインタビューやゲストティーチャーの講話等を行いました。身近な大人の話聞くことにより、児童の学習への意欲や興味が高まりました。本授業では、ウェビングマップや KJ 法等の思考ツールを活用しながら、児童が主体的に考え、話し合う活動を取り入れるようにしました。



瀧本 優奈

先生

令和5年度所属校

佐倉市立

王子台小学校

経験年数7年

(令和5年度末時点)

《URL》

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1003sougou.pdf>

学習指導案はこちら



小6年 総合的な学習の時間「ゆめ・仕事調査隊」

本時の目標

- 自分の調べた職業の情報をもとに、職業を選ぶために大切なことについて複数の情報を比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。
(思考力、判断力、表現力等)
- 話し合いの活動を通して多様な考えや視点を生かしながら、課題解決に取り組もうとしている。
(学びに向かう力、人間性等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**自分で取り組む**がよかった！

「整理・分析」の過程で、グループで情報共有をしていました。グループでの活動に慣れており、役割分担もでき、活発に説明し、議論する姿が見られました。ウェビングマップやKJ法を用いて、思考を可視化することで、思考をさらに広げ、深めることに繋がりました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**まとめあげる**がよかった！

授業の終わりに、振り返りの時間を確保していました。ワークシートを用いて、学習内容と学び方を振り返らせるとともに、新たな課題を持たせていました。そして、それらを全体で発表し合い、共有させていました。自己の学びの調整、その後の学習への意欲向上に繋がりました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

身近な内容や体験活動を重視することで、児童が自分事として主体的に考えたり調べたりするような課題設定ができるように工夫していきたいです。また、思考ツール等を効果的に活用しながら話し合いを行うことで、児童の思考力や表現力の育成を目指したいです。さらに教科横断的な学習を意識し、様々な教科で多面的な力を伸ばせるようにしていきたいです。



未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U10学びの未来づくり応援キャンペーン事業

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

少ない人数の中で子どもたちの発言をつないで授業が展開できるように、切り返しの発問を考えました。自分の考えを共有する際は、ブロック操作の様子を見ながらお互いの意見が聞けるように、全員の机をつけて向き合わせて、学び合いの場を工夫しました。



大浦 美穂
先生
令和5年度所属校
八街市立
笹引小学校
(現八街市立
八街東小学校所属)
経験年数5年
(令和5年度末時点)

《URL》 [https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-](https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1004sansu.pdf)

[hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1004sansu.pdf](https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1004sansu.pdf)

学習指導案は
こちら



小1年 算数科 単元「ひきざん」

本時の目標

○11~18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算は、被減数を10のまとまりといくつに分けて考えればよいことを理解し、その計算ができる。

(知識及び技能)

○被減数、減数の大小に関係なく、10のまとまりから1位数をひくことに着目して計算の仕方を考え、操作や図などによって説明している。

(思考力、判断力、表現力等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの「見出す」がよかった！

復習を経て、本時の学習問題を積極的に発表する児童が多く見られました。先生自身が、前時、本時、次時の授業内容を系統的に捉えており、児童にも意識させるような取組や児童の発言や発表を普段から大切にしている成果であると感じました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの「広げ深める」がよかった！

ノートに自分の考えをしっかりと書いており、友達に考えを伝えたり、説明したりする際の一助となっていました。普段からお互いの交流を意識しての板書や説明の仕方を指導している成果であると思います。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

教師の言葉は少なく、子どもの言葉で展開していく授業を目指していきたいです。また、子どもが積極的に調べたり考えたりして、意見を出したくなるような授業にするために、子どもが目を輝かせて「学びたい!」という気持ちになるような導入の工夫などを日々考えていきたいです。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U10学びの未来づくり応援キャンペーン事業



閑野 勇飛
先生

令和5年度所属校
香取市立
佐原中学校

経験年数9年
(令和5年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

絵コンテに込められている言葉の意味や効果について考えさせ、メディアと表現とのつながりが意識させられるように工夫しました。そのために、絵コンテで注目する観点を示し、メディアの特徴を捉えたうえで、情報を読み取れるように授業を展開しました。

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1005kokugo.pdf>

学習指導案は
こちら



中2年 国語科 単元 「メディアで表現された効果について考えよう」
本時の目標

○絵コンテに込めた意図や考えを、効果的に言葉で表現できている。
(思考力、判断力、表現力等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**授業前**がよかった！

国語における『メディア学習』の活用という新たな内容に取り組んだ挑戦的な授業でした。提示資料やワークシートを工夫することで、映像と言葉の関係について整理しやすくするとともに、生徒の興味・関心を高めることができました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**自分で取り組む**がよかった！

日常の指導の良さがにじみ出ていました。特に、ジグソー法で取り組むにあたって、個々の分担を確認するとともに、書くべきポイントについて明示してから、作業に入ったことで、全ての生徒が自分の考えをまとめ、確実に記述することができていました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

今回の授業でも活用したように、一人一台端末を生かした授業展開を考えたいです。その上で、活動だけにとらわれるのではなく、国語の学習を通して育むべき力を養いながら、生徒の深い学びにつながるように、効果的な端末の活用を目指していきたいと考えています。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業



石田 里奈
先生

令和5年度所属校
匝瑳市立
共興小学校

経験年数5年
(令和5年度末時点)

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

工夫したことは2つです。1つは、単元のゴールを明確にし、児童と共有したことです。「オリジナルの台本で1年生にペープサート劇をする」と設定したゴールを児童と共有したことで、相手意識や目的意識が明確になり、最後まで意欲的に授業に参加することができました。2つ目はワークシートの工夫です。登場人物の気持ちを別紙の吹き出しに書き、その吹き出しを貼り付けることで、積極的に多くの考えを引き出すことができました。

《URL》 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1006kokugo.pdf>

学習指導案は
こちら



小2年 国語科 単元「くりかえしに気をつけてとうじょう人ぶつの様子を読もう」
本時の目標

○場面の様子をとらえて、きつねの気持ちを読み取ることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**広げ深める**がよかった

教材の特性を理解し、児童の実態に応じたワークシートや全文掲示、心情メーターなどにより、どの児童も積極的に学習していました。また、公立図書館と連携し、教材に関連のある本を同時期に教室に置くことで、児童の興味関心が高まり、読書活動の充実も図ることができていました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**自分で取り組む**がよかった

学習の進め方をパターン化することで、児童が主体的に活動できるようにしていました。自分の考えをまとめた後に、ペアやグループで話し合う時間を設けることで、互いの考えの相違に気付くことができていました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

教員としての今後の目標は、子供の可能性を奪わないコミュニケーションで、「子供が育つ」を応援していける教員であることです。対話で子供と子供とを結び付けられるように、自分自身があらゆる事に対して積極的に学び続けたいです。また、学んだことを実践、そして、分析し、ブラッシュアップしたものを子供達に返していきたいと考えています。



チーバくん

未来をつくる！若手の先生方の実践を紹介します！

U I O 学びの未来づくり応援キャンペーン事業

授業者のコメント(授業を工夫した点、力を入れた点)

工夫した点は大きく2点あります。1つめは、生徒にとって身近な学習課題設定をしたことです。車の速度については生徒にとって想像しやすく、高い興味・関心を示すと考えました。2つめは、ICTを効果的に用いることです。デジタル教科書を用いた視覚的な課題提示で解決への見通しを持たせやすくしました。また、タブレットを用いて考え方を学級内で共有することで、数学的な思考を深める場面を設定できるようにしました。



滑川 晶太
先生

令和5年度所属校
匝瑳市立

八日市場第一
中学校

経験年数8年
(令和5年度末時点)

《URL》

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj->

[hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1007suugaku.pdf](https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-hokusou/shidoushitsu/documents/2024u1007suugaku.pdf)

学習指導案は
こちら



中3年 数学科 単元 「関数 $y=ax^2$ 」

本時の目標

- 身のまわりには、2つの数量の関係を関数 $y = ax^2$ とみなして、問題を解決できる場面があることを理解している。(知識及び技能)
- 具体的な事象の中の2つの数量の関係を、関数 $y = ax^2$ とみなして、問題を解決することができる。((思考力、判断力、表現力等))

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**広げ深める**がよかった！

教科書に掲載されている素材を用いて学習課題を提示し、ICTを活用したり、発問を工夫したりして授業の導入をしていました。生徒はその真偽について疑問を持ち、数学的な見方・考え方を働かせ、自然と学習問題の設定につながりました。

授業を参観した指導主事から

実践モデルプログラムの**自分で取り組む**がよかった！

自力解決の時間を設定した後、小グループでそれぞれの考えを共有する場面を設定しました。その中で、自分の考えを確かなものにしたり、互いの考えに耳を傾けたり、どのグループも主体的に解決を図るとともに授業者が適切に支援し、解答を導くことができました。

授業者のコメント(今後の目標や目指す授業について)

教員としての目標は2つあります。1つめは、教員として学び続けることです。教育は常に進化し続けているため、常により良いものに進化させる必要があると考えます。2つめは、教育に対する熱意と使命感を持つことです。熱意無くして生徒はついてこないと考えます。私の経験から、何事にも熱意無くして成功もないと思っています。そして、常に教員とは生徒の手本となる存在でなくてはいけないと考えます。そのためには、強い使命感を持つことが必要だと考えます。

もっとよい授業を！

と考えている先生方へ

千葉県では、授業改善を目指す先生方のために、ホームページや動画で授業改善のヒントを公開しています。また、授業参観や教科指導への助言など、よい実践を直接見たり、聞いたりできる事業（授業づくりコーディネーター活用事業）も行っています。効果的に活用し、授業力アップに役立ててください。

見たい！

達人の授業解説動画

“授業の達人”による実際の授業を見ながら、実践モデルプログラムに沿った授業づくりのポイントを学ぶことができます。

* 令和6年4月現在

小学校4本・中学校5本配信中

* 令和6年度9月新たに10本公開予定

* 動画は、限定公開となっており、URLは、各学校へ周知されています。

調べたい！

教育コンテンツ・データベース 「Wakaba」

千葉県内の優れた学習指導案を1600件以上掲載しています。また、長研生の研究報告書や授業づくりコーディネーターの実践事例等も見ることができます。

《URL》

<https://ap.ice.or.jp/wakaba2013/index.php>

二次元コード



参観したい！

聞きたい！

授業づくりコーディネーター 活用事業

千葉県では、指導方法の工夫や改善など優れた指導力を発揮している先生方を『授業づくりコーディネーター』に認定しており、授業を参観したり、授業づくりのアドバイスを受けたりすることができます。

北総地区には、コーディネーターが23名います。

《URL》

https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/jugyo_coordinator.html

二次元コード



知りたい！

「思考し、表現する力」を 高める実践モデルプログラム

実践モデルプログラムに沿った実際の授業を見ながら、思考し表現する力を高める授業づくりのポイントを学ぶことができます。

《URL》

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/zissenmoderu/moderupuro.html>

二次元コード

